

平成25年度

北海道立生涯学習推進センター

事業実施状況

北海道立生涯学習推進センター

目 次

1 調査・研究

- (1) 調査・研究 1～5
- (2) 企画・研究相談 6

2 指導者の養成・研修

- (1) 主催研修事業 7～9
- (2) 自主研修団体受入事業 10
- (3) 職員派遣事業 10

3 学習情報の提供・相談

- (1) 学習情報の提供 11
- (2) 学習相談 11
- (3) 家庭教育相談 12
- (4) 資料の収集、展示及び提供 13

4 学習機会の提供

- 道民カレッジ 14

5 教育メディアの利用促進

- (1) 視聴覚教育に関する教材の収集・整備 15
- (2) 視聴覚教育に関する教材の貸出し 15
- (3) H25新着教材リスト 16

1 調査・研究

(1) 調査・研究

研究課題	研究の概要	
	研究テーマ	内容
①生涯学習の振興に関する調査研究	地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラムの開発に関する調査研究	地域の生涯学習の拠点として、従来から大きな役割を担っている公民館や生涯学習センター、図書館等の施設に加えて、新たな学習活動の広がりを創出するために高等学校等を地域の拠点とした学習プログラムを開発する。 *概要はP 2～3を参照
②当面する課題に関する調査研究	学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究	市町村（広域を含む）やNPO・民間団体等との連携・ネットワークを構築しながら、学習成果を活用して地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する学習プログラムを開発する。 *概要はP 4～5を参照

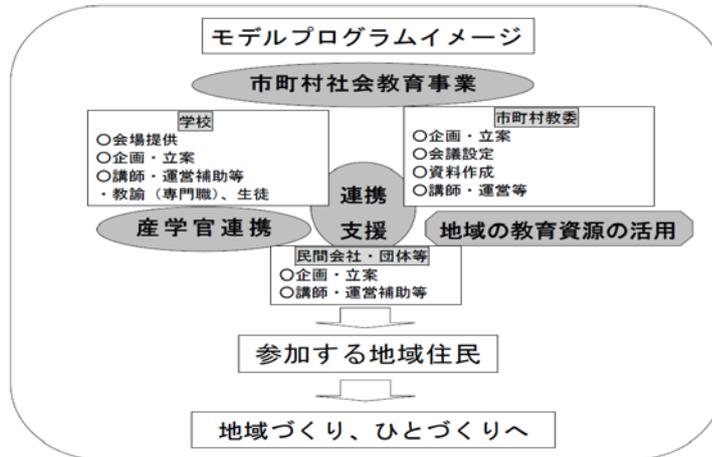
①生涯学習の振興に関する調査研究

「地域の生涯学習推進に向けた産学官の連携による学習プログラムの開発に関する調査研究」(2年次)の概要

1 調査研究内容

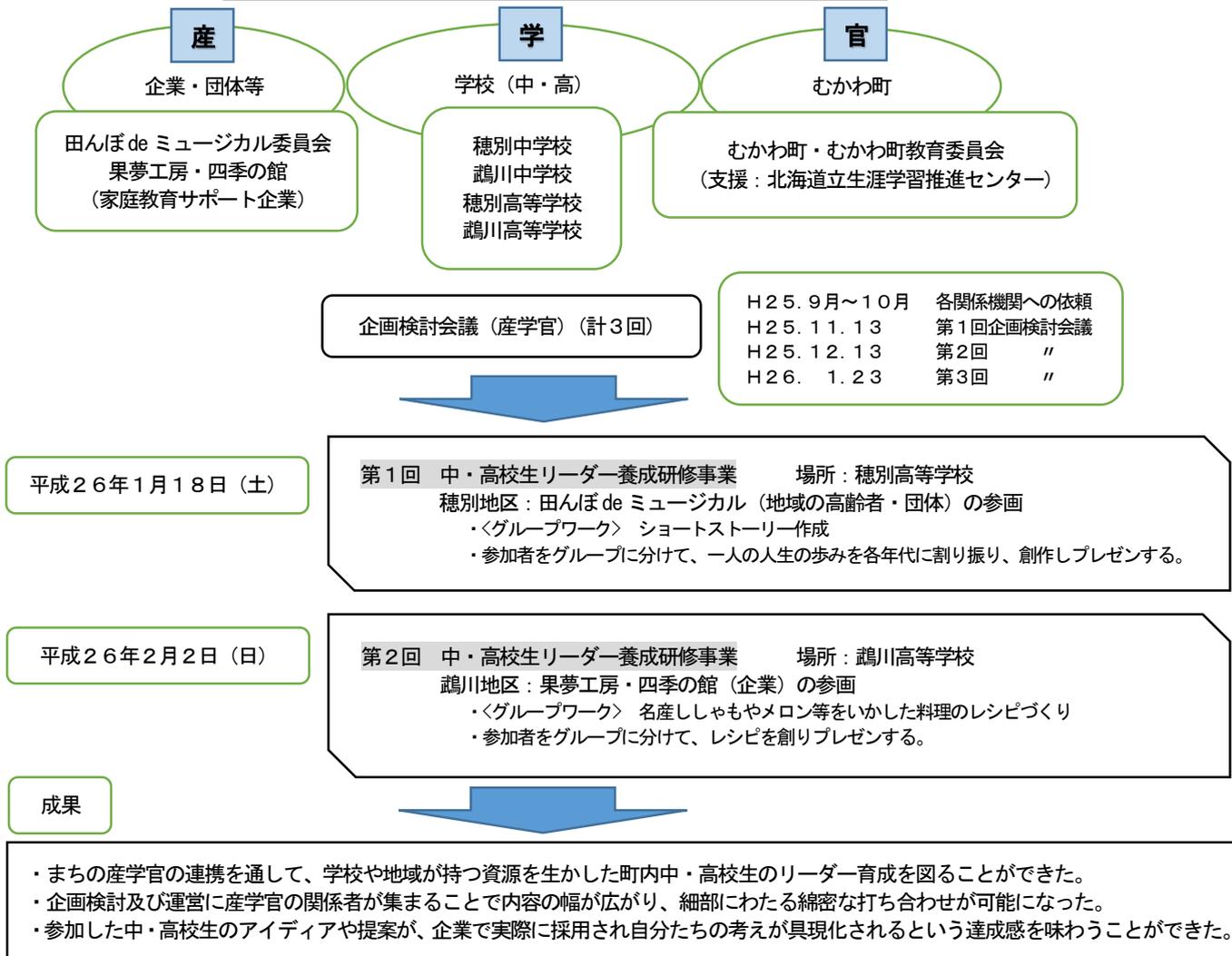
地域の生涯学習の拠点として、従来から大きな役割を担っている公民館や生涯学習センター、図書館などの施設に加えて、新たな学習活動の広がりを創出するために高等学校等を地域の拠点とした学習プログラムを開発する。

2 モデルプログラムのイメージ



3 モデル事業の概要

むかわ町のモデル事業 【中・高校生リーダー養成研修事業】



4 今後の方向性

- ・本モデルプログラムをもとに、市町村レベルから管内レベルに拡大した事業を展開し、その成果を道内各市町村へ広く普及する。
- ・管内レベルでの産学官の連携をとって、学校や地域が持つ特色や資源を生かした高校生リーダー養成研修を実施する。
- ・将来の地域の担い手である高校生の主体的な活動を重視し、関係者はサポート役に徹する学習プログラムを開発し普及する。

担い手育成に具体的成果

産学官連携の学習プログラム

むかわ町中高リーダー交流

道立生涯学習センター推進

道立生涯学習推進センターが本年度実施の「生涯学習の振興に関する調査研究」で支援しているむかわ町教委の中高リーダー交流事業。産学官が連携して企画・運営する交流事業では、町内中・高校四校の生徒会役員がワークショップを行い、地元・むかわ温泉四季の館で提供するメニューのレシピづくりに挑戦した。中高生は、同年代の若者や地域住民とつながりを広げ、地域の良さに気付きながら、活動を展開。地域特産の「しゃもを使った「しゃもコロッケ」がメニューに採用され、地域づくりへの具体的な成果を得た。

同センターは、本年度、「生涯学習の振興に関する調査研究を実施。研究テーマに「地域の生涯学習推進に関する学習プログラムの開発に関する調査研究」を掲げて取り組んでいる。

むかわ町教委は、これまでの取組を踏まえ、産学官の連携を導入し、中高リーダー交流事業に取り組みだ。

産として、高齢者を中心に映画づくりを進める田んぼdエミューシカル委員会と、むかわ温泉四季の館などを経営する(株)果夢工房、学として、町内の穂別高校、鶴川高校、穂別中学校、鶴川中学校の四校、官として、町、町教委、同センターが参加。

「町内中高生をつながりの場を提供し、次代を担う

若者間の新たな絆を生み出す」

「地域特性を活かしたワークショップを通じ、地元の魅力の気付きを促す」

「ワークショップによる議論から、他者の考え方を共有し、整理するために必要なコミュニケーションの重要性を学ぶ」ことをねらいとした交流事業を町教委と町青少年健全育成委員会の主催で実施。

一月十八日、穂別高校で開いた第一回交流事業では、田んぼdエミューシカル委員会がもつノウハウを



生かして、ワークショップ「短編ストーリーをつくらう」に挑んだ。

中・高校生考案 レシピを採用

今日二日、鶴川高校で開いた第二回交流事業では、ワークショップ「地元づくし☆グルメレシピを考えよう」を実施し写真。

ワークショップでは、むかわ町教委の神田順之主任がファシリテーターを務め、中・高校生二十五人が七班に分かれて活動。

果夢工房の齋藤真一支配人から「レシピデビュー」するためのポイントのレクチャーを受けたあと、地域ならではの食材を洗い出し、四季の館で提供する食事、デザート、総菜のレシピづくりに挑んだ。

各班では、特に高校生がリーダーシップを発揮し、自由な発想で様々なレシピ

を考案。審査の結果、地元産のしゃもを使った「しゃもコロッケ」が朝食メニューに採用され、近く提供されることになった。また、「パンパキンヨーグルト」と「チーズイン牛角コロボーカー」も、改良を加えた上で、期間限定メニューとして提供される運びとなった。

大人では発想できなかったレシピの数々には、審査に当たった齋藤支配人なども、その「柔らかい発想」に驚いた様子。生徒たちも、自分たちのレシピが採用された感動を胸に、つぎの活動への意欲が高められた。

今回の活動では、地域の産学官の支援を受け、中・高校生が地域づくりに具体的に貢献。

アドバイザーとして支援に当たった同センターの澤田慎也主査は、「生徒たちは、活動を通して表情や行動に変化がみられた。それが得たものを学校に帰ってから発揮してほしい。将来的には、地域の担い手として活躍してもらえれば」、また、「企業と学校が一緒に活動することを通じてネットワークを広げるなど、産学官の連携を一層強めることができた」と話し、地域づくりの一層の広がりに向け期待を寄せている。

②当面する課題に関する調査研究

「学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究」の概要

1 調査研究内容

市町村やNPO・民間団体等との連携・ネットワークを構築しながら、学習成果を活用して地域活動やまちづくりに貢献する人材を育成する学習プログラムを開発し、市町村等に普及することにより、地域の学習活動の活性化を図る。

2 テーマ設定の背景

《国・道の答申・提言等》

- 新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について（中央教育審議会答申）(H20)
「各個人が自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上に貢献するといった知の循環型社会を構築する」
- 地域の教育力の向上を目指した本道における生涯学習の在り方（北海道生涯学習審議会答申）(H21)
「地域の教育力を向上させていくためには、自らの知識・技術・経験や学習した成果を地域の中で十分に生かすことができる環境づくりを進めていかなければならない」

《市町村の現状》

- 生涯学習に関する住民の意識調査（北海道教育庁生涯学習推進局生涯学習課）(H24)
「学習成果をまちづくりやボランティア活動などに生かしている地域住民の割合」
 - ・平成18年度：20.3%
 - ・平成23年度：18.7%※知の循環型社会の構築が進んでいるとは言い難い状況

研究テーマ

「学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発に関する調査研究」

3 調査研究と普及の方法

【理論編】

文献、資料、先行研究等にもとづき、学習成果を活用して地域活動に参画する人材を育成する学習プログラムの開発が求められる背景や重点等を整理する。

【実践編】

人材の育成に取り組む市町村と協力して、住民参画を促す学習プログラムを開発し、その実践を視察して効果を検証する。

*協力市町村・団体

- ①沼田町
- ②十勝3町（上士幌町、鹿追町、新得町）

【調査研究報告書】(案)

〈理論編〉

- ・学習成果の活用が求められる背景とその意義
- ・学習と学習成果の活用の関係

〈実践編〉

- ・沼田町と十勝3町の実践概要

〈考察〉

- ・成果と課題

*データで作成し、3月末にHPに掲載するとともに市町村等へ配信

学習プログラムの実践概要

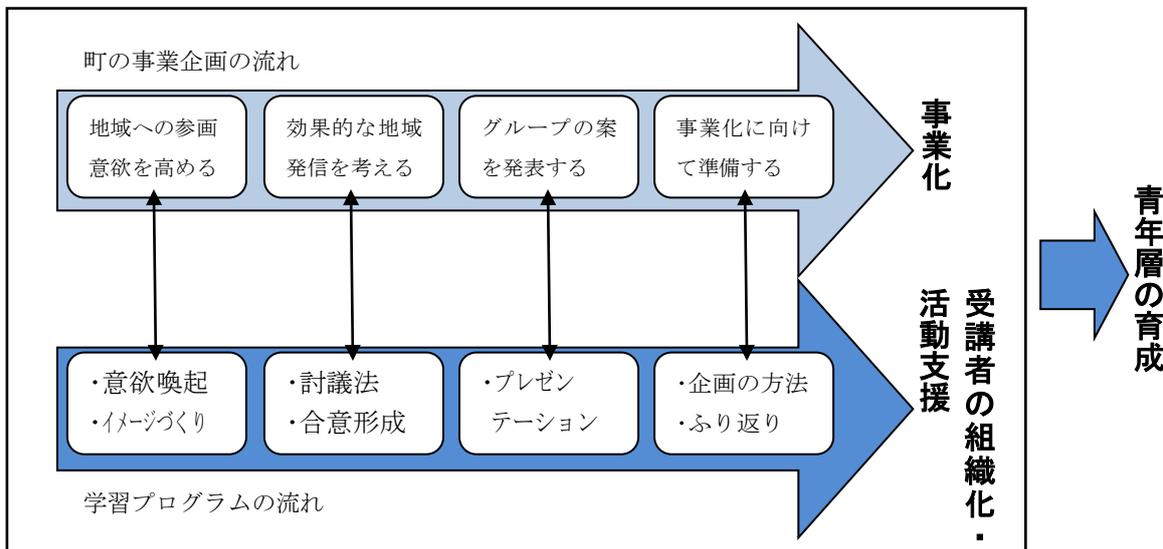
1 沼田町

(1) 事業名「沼田町の将来を担う町づくりリーダー養成塾」

(2) 事業の目的

町の事業企画をとおして、地域発信力に関するスキルの習得や受講者（町内の青年組織）のネットワーク化を図り、将来の沼田町の活性化を担う青年層を育成する。

(3) 事業の展開イメージ



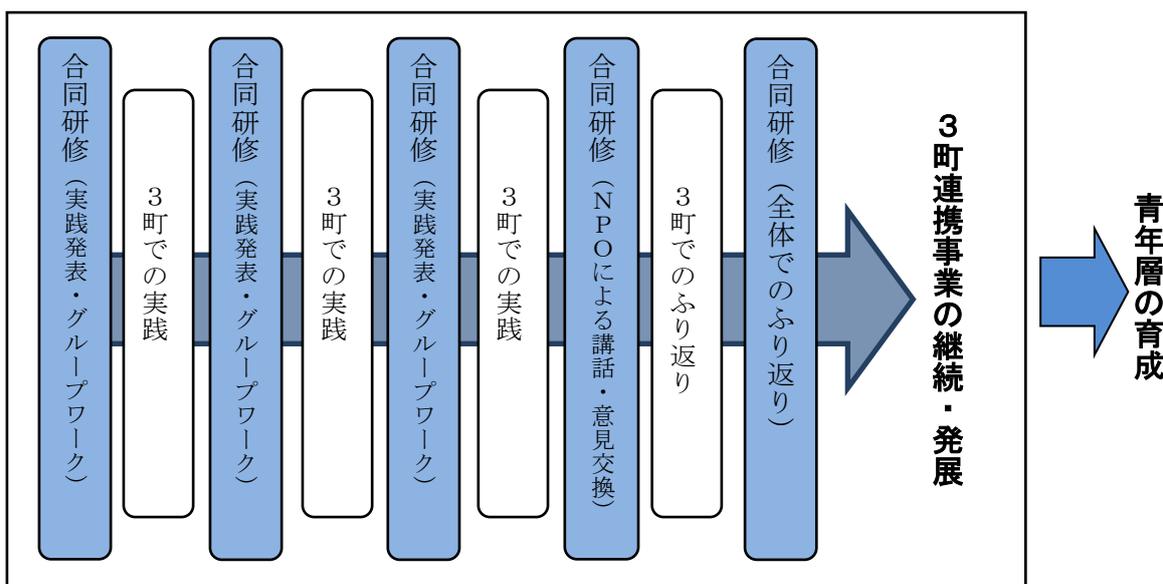
2 十勝3町（上士幌町、鹿追町、新得町）

(1) 事業名「上士幌町、鹿追町、新得町3町連携青年育成事業」

(2) 事業の目的

青年層の育成について同様の課題を持つ上士幌町、鹿追町、新得町の近隣3町が合同で研修を行い、互いのスキルやノウハウを学び合うことにより、地域のリーダーとしての青年層を育成する。

(3) 事業のイメージ



(2) 企画・研究相談

ア 事業概要

事業名	事業の概要		
	期間	対象	内容
企画・研究相談	通年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習指導者等	市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育に関する相談に応じ、指導及び助言を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習、社会教育の推進に関すること。 ・生涯学習、社会教育の調査・研究に関すること。 ・生涯学習、社会教育の文献・資料に関すること。

イ 相談状況

項目		計	(H24)
所属	1 道民	8	3
	2 行政 (市町村教育委員会等)	90	91
	3 学校	9	9
	4 各種団体 (社会教育関係団体等)	7	3
	5 その他	0	1
	計		114
前年比増減		+7	

項目		計	(H24)
相談内容	1 文献・資料	24	17
	2 生涯学習計画・社会教育計画	7	12
	3 社会教育調査・評価	2	3
	4 施設・団体	8	6
	5 学習機会・各種事業	14	11
	6 講師・指導者	30	23
	7 資格・各種制度	12	11
	8 その他	17	25
	計		114
前年比増減		+6	

※ 一件の相談に対して、複数の相談内容が含まれるものもあったため、「所属」と「相談内容」の計は一致しない。

2 指導者の養成・研修

(1) 主催研修事業

※「受講者数/定員」の()内は平成24年度実績

事業名	期 日	受講者数/定員	対 象	内 容
課題対応型 学習活性化 セミナー	札幌市 9月5日(木) ～6日(金) (2日間)	60/40 (29/40)	市町村・市町 村教育委員会 職員、各種審 議会委員、各 種指導者、民 間団体(NPO、 社会教育関係 団体、まちづ くり活動実践 者等)ポラン ティア)関係 者、その他(ポ ランティア活 動や地域活動 に関心のある 方)等	<p>[研修テーマ] 本格的な高齢社会における高齢者の 社会参加支援のあり方 ～NPO民間団体等と行政の効果的 な連携に向けて～</p> <p>[基調講義] NPOと行政の連携による高齢者の 社会参加促進方策 北星学園大学教授 杉岡 直人 氏</p> <p>[実践発表] ①男声読み聞かせ隊事務局長 近藤 哲夫 氏 ②山菜料理の店高齢者コミュニティビジネス・麻の会代表 赤崎 寿子 氏 特定非営利活動法人しらおい創造空間「蔵」理事長 坂本 譲 氏 ③演劇企画集団「銀の会」事務局長 秋元 博行 氏</p> <p>[研究協議] 高齢者の社会参加促進におけるNP O、民間団体等と行政の効果的な連 携について 推進センター職員</p> <p>[特別講演] 絵本の里26年「映画じんじん」ま での道のり～お年寄りの方たちの地 域づくりにおける役割～ けんぶち絵本の里を創ろう会初代会長 高橋 毅 氏</p> <p>[会場] かでる2・7</p>
遠隔学習プログ ラム研修講座	札幌市 10月25日(金) (1日間)	59/30	市町村・市町 村教育委員会 職員、民間団 体(NPO、 ボランティア 等)関係者、 学校職員、そ 他(ポラン ティア活動や 地域活動に関 心のある方、 地域の学習リ ーダー)等	<p>[研修テーマ] 生涯学習推進における遠隔学習の可 能性を探る</p> <p>[基調講義] 生涯学習推進における遠隔学習の可 能性 ～インターネットを活用した遠隔学 習に取り組むために～ 青山学院大学准教授 野末 俊比古 氏</p> <p>[実践発表] インターネットを活用した遠隔学習 の実践 ①道立生涯学習推進センター センター職員 ②富山インターネット市民塾推進協議会 柵 富雄 氏</p> <p>[演習] 地域の実態に即した遠隔学習プログ ラムの企画・立案 推進センター職員</p> <p>[会場] かでる2・7</p>

生涯学習推進 基本講座 (道央会場)	倶知安町 12月5日(木) ～6日(金) (2日間)	19/30	市町村・市町村 教育委員会 職員、各種審 議会委員(社 会教育委員、 生涯学習審議 会委員など)、 生涯学習関連 施設(児童館、 勤労青少年セ ンターなど) 職員等	<p>[研修テーマ] 住民参画を促す生涯学習の推進 ～計画策定から事業の企画・評価 まで～</p> <p>[説明] 道内の生涯学習事業の事例をとおし て 推進センター職員</p> <p>[実践発表] 地域づくりへの住民参画を促す生涯 学習事業 ①真狩村教育委員会 本間 亨氏 ②黒松内町教育委員会 本間 真氏 ③神恵内村魅力創造研究会 松本 遊氏</p> <p>[研究協議①] 住民参画に至るプロセスについて 推進センター職員</p> <p>[研究協議②] 住民参画の促進に向けて 推進センター職員</p> <p>[会場] 後志教育研修センター</p>
	(道東会場)	帯広市 6月21日(金) (1日間)	31/30 (28/20)	<p>[研修テーマ] 住民参画を促す生涯学習の推進 ～計画策定から事業の企画・評価 まで～</p> <p>[研究協議①] Aコース「事業企画について」 推進センター職員 Bコース「社会教育計画立案等につ いて」 推進センター職員</p> <p>[研究協議②] 住民参画に向けた事業企画について 推進センター職員</p> <p>[会場] 十勝合同庁舎</p>
	(道南会場)	函館市 10月11日(金) (1日間)	17/30 (25/20)	<p>[研修テーマ] 住民参画を促す生涯学習の推進 ～計画策定から事業の企画・評価 まで～</p> <p>[講義] 住民参画を促す生涯学習の推進に ついて 推進センター職員</p> <p>[情報交流] 生涯学習事業の事例をとおして 推進センター職員</p> <p>[研究協議] 生涯学習・社会教育の推進に向けて 推進センター職員</p> <p>[会場] 渡島総合振興局</p>
	(道北会場)	旭川市 7月5日(金) (1日間)	21/30 (13/20)	<p>[研修テーマ] 住民参画を促す生涯学習の推進 ～計画策定から事業の企画・評価 まで～</p> <p>[講義] 住民参画を促す生涯学習の推進に ついて 推進センター職員</p>

				<p>[講義・演習] ファシリテーターの役割及び手法について 推進センター職員</p> <p>[研究協議] 住民参画に向けた事業企画について 推進センター職員</p> <p>[会場] 上川合同庁舎</p>
(合計)		88/120 (66/60)		
生涯学習推進 専門講座	札幌市 11月7日(木) ～8日(金) (2日間)	34/30 (37/20)	市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社会教育委員、生涯学習審議会委員など)、生涯学習関連施設(児童館、勤労青少年センターなど)職員等	<p>[研修テーマ] 住民参画を促す生涯学習の推進 ～住民自ら学び、活動する契機となる学習機会の充実に向けて～</p> <p>[基調講義] 参加と協働のデザイン ～合意形成のプロセスとは～ 特定非営利活動法人NPO研修・情報センター代表理事 世古 一穂氏</p> <p>[実践発表] 住民との協働の取組 ～実践事例に学ぶ～ <発表者> ①小平町教育委員会 長澤 政之氏 ②羅臼町教育委員会 石崎 佳典氏</p> <p>[研究協議] プロセス重視の取組に向けて 推進センター職員</p> <p>[演習] 住民の主体的な活動を促す手法について 有限責任事業組合(LLP) ファシリテーションアイズ理事 篠原 誠氏 吉江 妙子氏</p> <p>[会場] かでる2・7</p>
地域生涯学習 活動実践交流 セミナー	平成26年 2月13日(木) ～14日(金) (2日間)	257/200 (223/200)	生涯学習・社会教育を担当する行政職員、図書館・博物館・青少年教育施設等の職員、生涯学習・社会教育関係の各種委員、生涯学習関係団体の指導者、生涯学習実践者等	<p>[研修テーマ] 「新しい公共」の担い手を育む社会教育行政の在り方 ～住民の社会参画促進のための社会教育施策の展開について～</p> <p>[本セミナー趣旨、研修テーマ等の説明及び各ブロック研修等の報告] ・道南、道央、道北、道東ブロック代表者 ・道主事会協議会役員 ・推進センター職員</p> <p>[実践発表・研究協議] 市町村職員のファシリテーションによる14管内(14市町村)の事例発表と協議</p> <p>[特別講演] 限界集落からの脱却 ～主役は集落、行政は黒子～ 石川県羽咋市教育委員会文化財室長 高野 誠鮮氏</p> <p>[会場] かでる2・7</p>

(2) 自主研修団体受入事業
ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
自主研修団体受入	通 年	市町村・市町村教育委員会職員、生涯学習・社会教育関係団体職員等	生涯学習・社会教育関係者等が行う自主的な研修に対する助言や指導等を行う。

イ 受入状況
(ア) 対象別受入状況

対象	道 内							道 外	その他	合 計	前年比増減
	市町村教委事務局職員	道教委事務局職員	その他の行政職員	社会教育関係各種委員	社会教育関係団体	学 校	企 業・民間事業所	道 外	その他		
H25団体数	11	0	1	0	2	0	0	1	0	15	+1
H24団体数	9	1	1	0	1	2	0	0	0	14	
H25人数	11	0	1	0	7	0	0	1	0	20	△87
H24人数	19	7	1	0	70	10	0	0	0	107	

(ア) 研修テーマ別受入状況

テーマ	用語概念	文献・資料	生涯学習全般	生涯学習計画	社会教育の内容、方法、形態	社会教育調査	社会教育計画	学習情報提供・学習相談	社会教育施設	社会教育の対象の理解	指導者養成	先進事例	現代的課題	その他	合 計	前年比増減
H25団体数	0	1	1	0	1	0	1	6	1	0	1	0	0	3	15	+1
H24団体数	0	0	4	2	2	0	2	1	0	0	0	0	0	3	14	
H25人数	0	1	6	0	1	0	1	6	1	0	1	0	0	3	20	△87
H24人数	0	0	19	3	76	0	2	1	0	0	0	0	0	6	107	

(3) 職員派遣事業
ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
職員派遣	通 年	「職員の講師派遣に関する取扱要領」に基づく対象団体が主催（主管）する研修会等	生涯学習・社会教育に関する研修会等を主催する団体からの要請に基づき、職員を派遣し、研修会等において指導や助言等を行う。

イ 派遣状況
(ア) 主催者別派遣状況

主催者	市町村、市町村教育委員会	社会教育関係団体	学 校、教育研究所	民間団体	国、道、道教育委員会等	合 計	前年比増減
H25	2	10	0	0	7	19	+1
H24	4	12	0	0	2	18	

(イ) 領域別派遣状況

領域	生涯学習・社会教育の推進	指導者養成・研修	社会教育施設の運営	まちづくり	体験活動・ボランティア活動	家庭教育支援	情報機器の活用	学習情報提供・学習相談	男女平等参画	青少年教育	高齢者教育	生涯スポーツ	その他	合 計	前年比増減
H25	10	5	0	1	0	0	0	0	0	2	0	1	0	19	+1
H24	9	6	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	18	

3 学習情報の提供・相談

(1) 学習情報提供

事業名	期 日	対 象	内 容												
ホームページ 『生涯学習ほっかい どう』	通 年	道民、行政関係者、 学校教育関係者、 社会教育関係団体 等	道民の様々な学習活動を支援するため、インター ネットで学習情報を提供する北海道の生涯学習情報 のポータルサイトを運営している。 URL http://manabi.pref.hokkaido.jp/ ※アクセス数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>Topページ (件)</th> <th>サイト内 (件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H25</td> <td>60,724</td> <td>1,761,835</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>57,988</td> <td>1,441,455</td> </tr> <tr> <td>前年比増減</td> <td>+2,736</td> <td>+320,380</td> </tr> </tbody> </table>		Topページ (件)	サイト内 (件)	H25	60,724	1,761,835	H24	57,988	1,441,455	前年比増減	+2,736	+320,380
	Topページ (件)	サイト内 (件)													
H25	60,724	1,761,835													
H24	57,988	1,441,455													
前年比増減	+2,736	+320,380													
生涯学習情報紙 『北のまなび』発行	8月26日 第74号発行 1月31日 第75号発行 3月20日 第76号発行	道民、市町村教 育委員会等	道民の様々な学習活動を支援するため、情報紙 を発行している。 学習相談や学習成果の活用を中心に掲載し、セ ンター事業の利用啓発を行っている他、発行直近 の研修事業や道民カレッジ情報など、生涯学習に 関わるタイムリーな話題等を掲載している。												

(2) 学習相談

ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
学習相談 「まなびウイング」	月～金曜日 (祝日・休日、 年末年始を除 く) 9:00～17:00	道民、行政関係 者、学校教育関 係者、社会教育 関係団体等	学習相談員等により道民の生涯学習活動支援の ための学習相談を行う。 【相談場所】 ・かでの2・7ビル8階 生涯学習相談室（まなびウイング） 【相談方法】 ・面接による相談（直接来所） ・電話、ファクス、メール等による相談 【相談内容】 ・文献・資料、生涯学習計画・社会教育計画、 社会教育調査・評価、施設・団体、学習機会・ 各種事業、講師・指導者、資格・各種制度等

イ 相談状況

所 属	項 目		計	(H24)
	1	一般道民	63	81
2	行政関係者	47	59	
3	学校教育関係者	18	19	
4	各種団体関係者	16	16	
5	その他	1	9	
	計	145	184	
	前年比増減	△43		

相 談 内 容	項 目		計	(H24)
	1	文献・資料	1	1
2	生涯学習計画・社会教育計画	0	0	
3	社会教育調査・評価	0	0	
4	施設・団体	1	0	
5	学習機会・各種事業	3	1	
6	講師・指導者	80	101	
7	資格・各種制度	0	2	
8	その他	60	80	
	計	145	185	
	前年比増減	△40		

※ 一件の相談に対して、複数の相談内容が含まれるものも
あったため、「所属」と「相談内容」の計は一致しない。

(3) 家庭教育相談

ア 事業概要

事業名	期 日	対 象	内 容
家庭教育相談 『子育て カウンセリング』	火～金曜日 (祝日・休日、 年末年始を除く) 13:00～17:00 1回約1時間 (要事前予約)	子育てに 関する不安 や悩みを抱 く親等	臨床心理士による無料の相談を行う。 【相談場所】 ・かでる2・7ビル8階 カウンセリング室 【相談方法】 ・原則として面接による相談 【申込方法】 ・予約受付 毎週月曜日～金曜日 9:00～17:00 (祝日・休日、年末年始を除く) 電話/FAX: 011-261-4545 E-mail: kosodate@manabi.pref.hokkaido.jp

イ 相談状況

(7) 相談者内訳

性 別	女 性						男 性						計	前年比 増 減
	年代	~20代	30代	40代	50代~	不明	小 計	~20代	30代	40代	50代~	不明		
面 接	2 2	9 5	2 5 2	7 6	0	4 4 5	4 8	1	4	2 1	0	7 4	5 1 9	+ 1 4 6
(H24)	2 0	5 6	1 9 3	8 0	2	3 5 1	4	6	1 0	2	0	2 2	3 7 3	
電話等	1	3	0	3	0	7	1	0	0	0	0	1	8	△ 3 6
(H24)	1 0	9	1	2	1	2 3	1 9	2	0	0	0	2 1	4 4	
計	2 3	9 8	2 5 2	7 9	0	4 5 2	4 9	1	4	2 1	0	7 5	5 2 7	+ 1 1 0
(H24)	3 0	6 5	1 9 4	8 2	3	3 7 4	2 3	8	1 0	2	0	4 3	4 1 7	

(イ) 相談内容等 (重複あり)

項 目	面 接	(H24)	電 話 等	(H24)	計	(H24)
	親 子 関 係	2 1	1 4	0	2	2 1
しつけ	6 0	2 3	0	1	6 0	2 4
虐待 (身体・性・心理・ネグレクト)	0	0	0	0	0	0
性教育	0	0	0	0	0	0
家族関係 (父母・兄弟姉妹)	1 8 7	1 4 7	4	4	1 9 1	1 5 1
発達	1 6 1	1 3 4	1	1 9	1 6 2	1 5 3
その他	3	1	3	0	6	1
学 校 関 係	1 2 2	9 7	0	1 2	1 2 2	1 0 9
いじめ	4	1	0	0	4	1
友人関係	2 6	1 8	0	6	2 6	2 4
進路	1 6	3 6	1	3	1 7	3 9
学業	3 0	1 3	0	1	3 0	1 4
学校 (担任) への不満	9	9	1	0	1 0	9
学級への不満	0	0	0	0	0	0
その他	1 6	1	0	0	1 6	1
救 護 関 係	1	0	0	0	1	0
異性問題	1	0	0	0	1	0
非行・暴力	1	0	0	0	1	0
外泊	1	0	0	0	1	0
家出	0	0	0	0	0	0
性格・行動 (内気・反抗・習癖)	4 2	4 6	0	0	4 2	4 6
たばこ・飲酒	7	0	0	0	7	0
薬物乱用	0	0	0	0	0	0
その他生活全般	5	1	0	0	5	1
そ の 他	6 1	5 1	0	0	6 1	5 1
交友関係	1	6	0	0	1	6
身体関係	2 1	2 3	4	3	2 5	2 6
心身症	2 2	1 9	0	0	2 2	1 9
うつ状態・ノイローゼ	6	1	0	1 9	6	2 0
ひきこもり	2 7	2 6	0	1	2 7	2 7
その他	8 5 0	6 6 7	1 4	7 1	8 6 4	7 3 8
合 計	8 5 0	6 6 7	1 4	7 1	8 6 4	7 3 8
前年比増減	+ 1 8 3		△ 5 7		+ 1 2 6	

(4) 資料の収集、展示及び提供〔情報交流広場（まなびの広場）〕（委託）

事業名	期 日	対 象	内 容
ア 情報交流広場	通 年	道 民	道民カレッジに関わる相談や情報提供をはじめ、生涯学習に関する図書、資料、パンフレットなどを展示・提供するとともに、道内市町村・団体の生涯学習への取組や学習成果等の発表や紹介の場を提供している。また、自主学習サークルやボランティアの交流促進のためミーティングスペースを設置している。
イ 道民カレッジ 情報コーナー			道民カレッジに関わる相談及び情報を提供している。 ・入学・称号取得手続及び相談 ・講座受講の相談 ・ガイドブック、パンフレット、大学放送講座チラシ、連携講座関係資料等の提供
ウ 展示コーナー			道内市町村及び生涯学習関係団体の取組や学習成果等の発表・紹介を行っている。 ・応募のあった市町村・団体の取組の紹介及び作品の展示（下記参照）
エ ふるさと コーナー			北海道に関わる図書をはじめ、道内市町村の広報誌や情報誌、パンフレット及び団体の文芸誌などの紹介・提供を行っている。 ・地方新聞 ・市町村広報紙、パンフレット ・文芸誌 ・北海道関係図書・資料
オ ビデオレファレンス コーナー			道民の申し出により、「大学放送講座」録画ビデオをはじめ、教養ビデオ・エルネット放送ビデオの試写を行っている。

平成25年度 まなびの広場展示実施団体

番号	実施期間	実施団体名	実施内容
1	4月16日（火）～ 4月30日（火）	北海道文化財保護協会	夷曾列像パネル展
2	5月2日（木）～ 5月28日（火）	いしかり市民カレッジ	いしかり市民カレッジのPR展示
3	6月1日（土）～ 6月28日（金）	北海道立青少年教育施設	道立青少年教育施設のPR展示
4	7月1日（月）～ 7月31日（水）	札幌ユネスコ協会	ユネスコのPR展示
5	8月1日（木）～ 8月15日（木）	「ほっかいどう学」大学放送講座実行委員会	大学放送講座の内容と参加大学の紹介
6	8月17日（土）～ 8月30日（金）	北海道趣墨会	会員の水墨画色紙、掛け軸等の展示
7	9月2日（月）～ 9月30日（月）	国立大雪青少年交流の家	国立大雪青少年交流の家の紹介と展示
8	10月1日（火）～ 10月16日（水）	北海道文化財保護協会	文化財保護活動の内容紹介
9	10月21日（月）～ 11月15日（火）	絵画サークル「たんぼぼ」	身近な自然や風景の絵画展示
10	11月19日（火）～ 11月25日（月）	書と絵手紙サークル	会員の書と絵手紙の展示
11	12月2日（月）～ 12月20日（金）	国立日高青少年自然の家	国立日高青少年自然の家の紹介と展示
12	1月6日（月）～ 1月31日（金）	国立大雪青少年交流の家	国立大雪青少年交流の家の紹介と展示
13	2月17日（月）～ 2月28日（金）	北海道心の教育推進会議	心の教育推進キャンペーン強調月間展
14	3月3日（月）～ 3月15日（土）	写真集団はまなす	会員の写真展示

(H24末：14団体)

4 学習機会の提供

道民カレッジ事業（委託）

事業名	期日・場所	内容
ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業	通 年 全道各地	道民の専門的・多様化する学習ニーズに対応するため、産学官の連携による生涯学習を支援する体制の整備を図り、様々な学習機会を体系的に構築・提供することによって、道民の生涯学習をより一層振興するとともに、自立した北海道を創造する人材を育成する。 ◇「学びたいという意思」を唯一の入学資格とする「北海道の生涯学習の学園」 ◇全道各地で開催されている講座をだれもが受講可能 ◇自分が学びたい講座を選び、自分を高めるとともに、学習成果を地域等で活用 ◇学生数 26,248人（H24：25,798人）
ア 主催講座 （ア）「ほっかいどう学」大学放送講座	平成25年 10月5日～ 11月16日 （毎週土曜日） 午前5時 ～5時30分 再放送（火曜日） 10月8日～ 11月19日 HBCテレビ放送	北海道の広域性を考慮し、テレビ放送講座を通して、どこでも誰もが学ぶことができる機会を提供している。平成23年度よりインターネットによる動画配信の期間を1年間に延長して実施している。 ○7大学参加・放送回数14回 （H24：8大学参加・放送回数16回） （北海学園大学、北海道医療大学、北海道教育大学、北海道情報大学、北海道大学、札幌大学、北海道薬科大学） ○番組：北海道の地域課題をテーマとした内容 ○受講者数（レポート提出者数）：770人（H24：711人）
（イ）「ほっかいどう学」地域活動推進講座 （平成25年度～）	平成25年 7月～ 平成26年 2月	地域の様々な機関や団体等と協働しながら地域づくり・まちづくりに関わっていくために必要なコミュニケーションの力を向上させるための講座である。 ○講座回数：2圏域9回 ○受講者数：延べ178人
イ 連携講座	通 年 〔前期 4～9月〕 〔後期 10～3月〕 全道各地	道民カレッジに賛同する高等教育機関、市町村、民間教育事業者及びNPO団体等が主催する事業等を連携講座として登録している。 ○講座数 2,895講座（H24：2,862講座） ○受講者数 80,716人（H24：77,666人） ○コース「ほっかいどう学」、「能力開発」、「環境生活」、「健康・スポーツ」、「教養」の5コースに分類

5 教育メディアの利用促進

(1) 視聴覚教育に関する教材の収集・整備

事業名	期 日	対 象	内 容
視聴覚教材収集・整備事業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材を収集・整備し、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援している。

視聴覚教材分野別整備状況

家庭生活・趣味	学校教育	社会教育・福祉	教養	芸術・芸能	産業・技術	市民生活国際理解	体育・スポーツ	その他	計
225	1,111	888	1,039	845	375	612	134	65	5,294

(2) 視聴覚教育に関する教材の貸出し（委託）

事業名	期 日	対 象	内 容
視聴覚教材貸出事業	通 年	官公庁、社会教育施設等、学校、社会教育関係団体、民間団体等	学習活動に必要な視聴覚教材の貸出しを行い、市町村や関係団体の生涯学習活動を支援している。

視聴覚教材利用団体別貸出状況

区 分	官公庁	社会教育施設等	学校	社会教育関係団体	民間団体	その他(個人含)	計	前年比増減
件 数	19	54	12	16	96	0	197	0
(H24)	25	41	21	33	77	0	197	
本 数	50	141	29	41	152	0	413	0
(H24)	55	84	70	84	120	0	413	
人 数	751	3,216	1,157	703	1,798	0	7,625	+ 2
(H24)	1,155	2,574	965	1,668	1,261	0	7,623	

(3) 平成25年度新着教材リスト

No	タイトル	サブタイトル	内容	上映時間	製作年	細目分類
1	高齢者のレクリエーション支	～遊びが福祉を豊かにする～	施設・地域で行われている特色ある取り組みを通して、高齢者のレクリエーションの全体像を紹介します。	59	2013	社会教育・福祉
2	元気な職場をつくるメンタルヘルス2	第1巻 “うつ” を考える	「うつ」による休職・復帰を経験した人の体験談を元に、「うつ」の予防と対処法、早期回復を考えた教材です。	24	2008	社会教育・福祉
3	元気な職場をつくるメンタルヘルス2	第2巻 知っておきたい！ 過重労働対策	なぜ過重労働対策が必要なのか、メンタルヘルスと健康障害との関連など、過重労働と健康の拘わりをわかりやすく解説します。	23	2008	社会教育・福祉
4	元気な職場をつくるメンタルヘルス5	第1巻 自分の健康は自分で守る！ ～セルフケアとは何か～	セルフケアのポイントは、①ストレス、メンタルヘルスに対して正しく理解する、②ストレスに気づく、③ストレスに対処するの3点です。「職業性ストレスモデル」に沿って事例ドラマを分析。「仕事のストレス要因」「仕事以外のストレス要因」「個人の要因」「緩衝要因」を正しく理解し、ストレスへの気づき、それぞれの対処方法を解説していきます。	25	2013	社会教育・福祉
5	元気な職場をつくるメンタルヘルス5	第2巻 自分でできるストレスコントロール ～セルフケアのための10の方法～	仕事をしている以上、ストレスと無縁ではられません。ストレスの影響を少なくするために、日常生活の中ですぐに行えるストレス解消法をたくさん持つことが重要です。この教材では「職業性ストレスモデル」の各プロセスに注目。要因ごとに4つの視点からセルフケアのための10の方法をわかりやすく紹介します。	25	2013	社会教育・福祉
6	勇気を出して乳がん検診	早期発見が大切ないのちを守る	「乳がん」の発症のしくみや症状、検診とはどういうものか、がんと診断された場合の治療方法などを紹介します。	20	2011	社会教育・福祉
7	幼児とのかかわりを考えるシリーズ	【シリーズA】	①新しい先生とともに（4才児） ②はじめての幼稚園（4才児） ③こんなことがおこったら（4才児） ④新しい生活がはじまって（3才児）	20	2006	学校教育/乳幼児教育
8	幼児とのかかわりを考えるシリーズ	【シリーズB】	⑤せんせい、見てて（4才児） ⑥だって、やりたいんだもん（4才児） ⑦せんせいは、トオルくんとつきあってるんだよ（4才児）	20	2006	学校教育/乳幼児教育
9	幼児とのかかわりを考えるシリーズ	【シリーズC】	⑧ふたりだったら チョーさみしそう（4才児） ⑨ここだからね せんせい（5才児） ⑩アリちゃんはアメリカへいっちゃったの（3才児）-3歳児・5月の生活-	20	2006	学校教育/乳幼児教育
10	自転車も車両です～交通安全への意識改革～		自転車に乗る人をはじめドライバーや歩行者に、「自転車も車両」という意識と責任感を持たせ、安全ルールの基本である自転車安全利用5則を理解させ、法規とマナーを守るようにします。	21	2008	学校教育
11	もったいないばあさんと考えよう世界のこと		厳しい環境で暮らす世界の子どもの現状、そして、それらの問題が私たちの暮らしとどのようにつながっているのかを分かりやすく伝えます。	71	2009	学校教育
12	友達の声が聴こえる？	～本当の思いやり～	子どもたちが織りなすストーリーをとおして、友達の心の声に耳を傾け、相手の考えや気持ちを尊重し、本当の思いやりとは何かを考えさせます。	24	2013	学校教育
13	ハイジ		世界中で愛されるアルプスの少女ハイジ。美しい山と自然を親子で楽しめる作品です。	281	1978	芸術・芸能/劇映画
14	エリック・カール コレクション はらべこあおむし		世界中で愛されている絵本作家、エリック・カールの代表作をアニメ化した作品です。	33	2012	芸術・芸能/劇映画
15	藤城清治 影絵劇	第1巻	ブレーメンの音楽隊 スキャンプー 海に落ちたピアノ	39	2007	芸術・芸能/劇映画
16	藤城清治 影絵劇	第2巻	クリスマスの鐘 マッチ売りの少女	30	2008	芸術・芸能/劇映画